

編集 新潟県商工会女性部連合会  
発行 新潟県商工会連合会  
新潟市中央区新光町7番地2  
TEL 025(283)1311代  
印刷 北洋印刷株式会社

# しなの川

題字 末武県女性連会長

## 誓いの言葉

- 一、わたしたち商工会女性部は、女性の特性をいかし、地域振興発展のよき協力者であるとともに、推進者となります。
- 一、わたしたち商工会女性部は、商工女性の使命感に徹し、組織活性化の原動力となります。
- 一、わたしたち商工会女性部は、社会一般の福祉の増進に努め、豊かなまちづくりの担い手となります。



## 年頭のごあいさつ

新潟県商工会女性部連合会

会長 末武 榮子



新春を寿ぎ、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

さて、昨年は三月十一日に千年に一度ともいわれるマグニチュード9.0の東日本大震災が発生し、津波と原発事故で大勢の人々が犠牲となりました。更に、夏には全国各地で水害が発生し、当県でも七月に新潟・福島豪雨に見舞われ、県内の広い範囲で大きな被害を受けました。又、歴史的な円高、デフレの長期化、欧州の金融不安等我々中小企業を取り巻く環境は言うに及ばず、日本全体が大変厳しい一年でございました。

こうした中、サッカーの女子ワールドカップ(W杯)で初優勝した「なでしこジャパン」は、日本中に希望と勇気を与えてくれました。

私たち女性部も、東日本大震災に係る支援活動として持ち前の団結力「絆」をいかにたく発揮し、被災地の皆様の一日も早い復旧、復興を願い、義援金活動の積極的な展開をはじめ、「ほかばか」プロジェクトでは、湯たんぽ五百八十八個を岩手県連へお届けいたしました。又、長岡藩の「米百俵」の歴史にちなみ「県女性連米一合運動」を実施し、岩手県、宮城県、福島県へお米(三十キログラム)を三十袋お届け

けし、大変喜ばれました。恒例の県外視察研修は、中越大震災の際、多額の義援金を頂戴した長野県連傘下の栄村が地震に見舞われたので恩返しに訪れ、交流を大いに深めてまいりました。

個人的なことで恐縮ですが、春の叙勲で旭日雙光章受章という望外の栄に浴することができましたが、岩村県連会長をはじめ副会長の皆様が発起人となつて下さり、盛大な祝賀会を開催していた、できましたことは私にとつて生涯忘れえぬ慶事となりましたことに衷心から御礼申し上げます。

さて、今年の干支は辰。相場格言では、「辰巳天井」とはやすそうですが、商工会を取り巻く環境は、昨年同様前途多難な年明けになりそうです。

「商工会は地域発展のパートナー」をテーマに「絆」を肝に銘じ、「行きます！ 聞きます！ 提案します！」の気持ちで昇竜のごとく地域が発展し、女性部が充実・発展する年になるよう微力を尽くしたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

終わりに、平成二十四年が女性部の皆様にとつて、充実した豊かな一年となりますことを祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。



# 末武会長 旭日雙光章受章記念祝賀会開催される

去る十月二十八日(金)午前十一時から、新潟市のANAクラウンプラザホテル新潟にて、「末武榮子氏 旭日雙光章受章記念祝賀会」が開催されました。全国各地から約二百八十名の方々が出席し、末武会長の叙勲受章を心からお祝いをいたしました。

祝賀会は、中嶋県女性連副会長の司会により進められ、五十嵐県女性連副会長の開会の辞の後、発起人を代表して岩村県連会長が発起人代表挨拶を行いました。



司会から末武会長が新潟県女性連会長並びに全女性連会長として、地域商工業の総合的改善発達と社会一般の福祉の増進のために、地域活性化のためのイベント並びにボランティア活動などによく務め、全国の商工会女性部の指導・育成に大きく貢献した功績が紹介されました。

続いて、鈴木中小企業庁長官、泉田県知事、高野佐渡市長、石澤全国連会長から心温まる祝辞を賜りました。



来賓紹介、祝電披露の後、末武会長の友人である海老名香葉子さんから末武会長夫妻に対し花束が贈呈され、お祝いの言葉を頂戴しました。

その後、末武会長から、叙勲の喜びと感謝の気持ちが述べられました。

奥田県女性連副会長の司会により祝宴へと移り、藤間流の石見陽子さんから祝舞「松」が披露されました。

続いて、末武会長夫妻をはじめ、ご来賓・発起人の方々から、鏡開きが行われまし



た。株式会社大庄の平取締役第五支社長の乾杯の後、末武会長の地元相川石花の鬼太鼓、相川町商工会女性部による「相川音頭」「佐渡おけさ」が披露されました。最後に、世界的に有名なジャズダンスアーティスト若林美津枝さんからジャズダンスが披露され、会場内は魅了されました。

また、テーブルスピーチとして、林全女性連顧問・鹿児島県女性連会長をはじめ、中野県議会副議長、桜井茨城県女性連会長、有限会社UCA研究センターの宇井代表取締役、浄土宗尼僧 小林良正庵庵主から、お祝いの言葉をいただきました。

最後に、宮本全青連相談役から万歳三唱、そして金子県女性連副会長から閉会の辞が述べられ、閉会となりました。



# 第13回 商工会女性部 全国大会(富山大会)開催される



去る十月十三日(木)〜十四日(金)の二日間、富山市「富山市芸術文化ホール オーバード・ホール」において、全国から約二千三百名を超える参加者のもと、『パノラマキトキト富山発! 素敵な仲間との出会いを広げよう 伝えよう きらめく明日へ』をスローガンに、「第十三回商工会女性部全国大会(富山大会)」が開催され、当会からは、七十三名が参加しました。オープニングセレモニーの後、大会旗の入場、続いて夏野富山県女性連会長が開会あいさつを行い、大会が開催されました。

国歌斉唱、商工会女性部の歌の斉唱・誓いのことばの唱和の後、大会会長である末武全女性連会長からあいさつが行われました。続いて、徳増中小企業庁経営支援部長、石井富山県知事、坂田富山県議会議長、松村参議院議員

の来賓祝辞の後、石澤全国連会長からあいさつが行われました。

その後、桜井全女性連副会長から全女性連四十五周年記念事業報告が行われ、続いて四十五周年記念表彰(全女性連会長表彰)が行われました。当県からは、優良女性部として、出雲崎町商工会女性部及び北条商工会女性部、女性部功労者として、朝日商工会女性部の小田部長及び三島町商工会女性部の野崎部長が表彰を受けました。(事業概要及び受賞商工会・受賞者からのコメントは四面に掲載してあります。)

引き続き、全女性連事業で優秀な成績を取った都道府県女性連や商工会女性部等に対しての表彰等が行われ、女性部員増強運動表彰(加入促進強化期間実績)商工会女性部の部で両津商工会女性部が第三位、「年間実績」都道府県商工会女性部連合会の部で当女性部連合会が第二位、商工会女性部の部で両津商工会女性部が第二位を受賞し、両津商工会女性部の奥田部長が代表して、表彰を受けました。

その後、東北ブロックから、東日本大震災に対する支援への御礼や被害状況等の報告が行われました。

続いて、主張発表大会が開催され、今回は、東日本大震災により、東北・北海道ブロック大会が開催されず、ブロック代表者が選出できないことから、発表者五名に対して審査は行わないこととし、発表者全員に「優秀賞」が授与されました。いずれの発表者も各ブロック予選を勝ち進んで来ただけあり、すばらしい内容と発表態度で、参加した女性部リーダーにとって非常に参考となりました。

主張発表大会終了後、「立山信仰と越中売菓のこころと知恵」と題して、



富山県館山博物館館長米原寛氏から基調講演が行われました。

その後、大会引継ぎセレモニーが行われ、中部ブロックから次回開催の近

畿ブロックに大会旗が引き継がれました。次回開催県の京都府女性連の松井会長からPRが行われ、最後に閉会宣言がなされ大会が終了しました。

大会会期中、同会場では、富山県内の特産品・物産コーナーが多数設置され、多くの参加者が賑わいました。

続いて、会場を「富山市総合体育館」に移し、交流会が開催されました。和やかな雰囲気の中、各都道府県の女性部の方々と交流を深め、交流会は終了しました。

翌日は、曳山展示館を見学、越中八尾の街並を散策した後、ポランティアガイドの案内のもと、おやべメルヘン建築を見学しました。その後、ホテルニューオータニ高岡にて昼食をとり、一路新潟へ向かいました。

ご参加いただきました皆様、大変ありがとうございました。

## 全女性連 女性部員増強運動表彰 受賞して



両津商工会女性部  
部長 奥田 富子

- 【加入促進強化期間実績】  
商工会女性部の部 第3位
- 【年間実績】  
商工会女性部の部 第2位

平成21年4月両津商工会女性部長をお引き受けし、そして佐渡商工会女性部協議会会長に選ばれ、さらには新潟県商工会女性部連合会副会長をおおせつかり、任期3年間どのようにお役目を果たしたらよいのか戸惑っておりました。折しも、その年の9月初めて女性部全国大会に参加しました。日程の後半は、部員増強運動と女性部カードの表彰セレモニー。残念ながら新潟県はどの部門にも入賞していませんでした。

末武榮子会長の新潟県が出ていないとは! 会長のお膝元の佐渡が一発奮起して頑張らねば! 来年は会員増強に取り組むぞ!

平成22年度両津商工会女性部は、副部長さんや役員さん達も一丸となって部員増強に廻り、強化期間実績20名で第3位、年間実績26名で第2位に入賞、平成23年全国大会で念願叶って新潟県の名が表彰者リストに載りました。



# 商工会女性部 全国組織化 四十五周年 記念事業概要

全女性連では、商工会女性部が、全国組織化四十五周年という記念すべき節目の年を迎えるにあたり、より一層の組織強化を図るとともに、更なる飛躍に向けて、以下のとおり記念事業を実施しました。

- 「第十三回商工会女性部全国大会 in とやま」の開催  
大会において、「優良女性部」及び「女性部功労者」の全女性連会長表彰を行いました。
- 新たな「魅力ある女性部づくり」事業の検討  
事業の創設について検討を行い、平成二十四年度より事業に取り組みます。
- 「エコキャップ」回収事業の推進  
ペットボトルのキャップ回収事業に組織をあげて取り組み、地球環境を改善するとともに、国際社会に貢献しました。
- 「五〇〇円玉募金」事業の実施  
平成二十三年度より三ヶ年の継続事業として実施するのとし、今年度の募金額は、三千六百九十五万三千三百七円となり、東日本大震災の被災地域における復旧・復興支援するため助成等を行いました。

## 優良女性部



出雲崎町商工会女性部  
部長 磯木ヨシエ

女性部四十五周年記念優良女性部表彰の受賞について、当商工会の事務局から連絡を頂いた時、「何で私たち女性部が？」と正直思いました。それほど、アピールできる活動もしていないし、でも、この賞は先輩の部長さんが私たちの活動の布石を敷いてくれて、それに協力してくれる現在の役員さん、部長さんの賜物だと感謝でいっぱいです。一人では限りがあります。皆さん、事業をやる時、口ではいろいろと言われませんが、根がまじめなのか、一丸となってパワフルに活動してくれそうです。頼もしい人たちです。我が町もご多分にもれず、過疎化が進み、廃業せざるを得なくて、女性部員も徐々に減少しております。時代のせいと言って、片づけられない死活問題です。私たち女性部も今までどおりではなく、付加価値をつけて、我が町を変えていかななくては、意気込みだけは元氣です。今回のこの賞を励みに、

## 女性部四十五周年記念 全女性連会長表彰

## 女性部功労者

女性部活動を部員の皆さんと邁進していきたいと思えます。ありがとうございます。



北条商工会女性部  
部長 村山 和子

この度は、このような賞をいただき大変嬉しく、部員一同喜んでおります。当商工会は、商工会員数七十八名、女性部員数十七名と小さな商工会の小さな女性部です。設立から三十二年がたち、部員の高齢化は否めませんが、みんな明るく元気で和気あいあい笑いとおしゃべりの絶えない楽しい仲間ばかりです。デイケアセンターの花壇づくりボランティアや、ソフトボール大会を通じて地域との交流を図り、お祭りやイベントへの出席協力で地域の活性化ができれば、と活動して参りました。地域の過疎化、高齢化がますます深刻になってくると思われませんが、人とのつながりを大切にし、明るく元氣に活動を続けていきたいと思います。



朝日商工会女性部  
部長 小田 保子

昨年の商工会法施行五十周年記念新潟県商工会連合会会長表彰に続き、この度、商工会女性部全国組織化四十五周年記念全女性連会長表彰とダブルで頂き、本当に驚きそして大変ありがたく思っております。この賞を頂戴できたのは、末武会長様はじめ諸先輩の皆さまのご指導と、部員の皆さんそして事務局のお手を借り、三十五年間務めさせていただいた賜物と感謝しております。女性部に入部し、一員として活動に参加することで、様々なことにチャレンジし、多くの人たちと交流を深めながら、商工会の別の大切な一面を知ることができたものと、長年務めることができたものと思っております。活動で家を空けることも度々でしたが、いやな顔一つせず、送り出してくれた主人、子供たちにも感謝し



三島町商工会女性部  
部長 野崎 光子

今年には災害多発の一年でしたが、その中でも特に三月十一日の東日本大震災では、被害に遭われた方々には心よりお見舞いと、ご冥福を申し上げます。被災された皆様の頑張り、全国の皆さまの応援には、私も何かお手伝いのできることはないかとの気持ちを抱かせて下さることに、皆さんより大きな勇気をいただきました。終わりになりますが、商工会に加入し、本当によかったですと思っております。これからも、私にお手伝いのできるものがあれば女性部活動を続けて行きたいと思っております。大変ありがとうございました。

に、驚きと嬉しさでいっぱいです。代々の部長さんがあってこそその受賞、本当にありがたく身に余る光榮です。私達女性部は、四月の総会が一年のスタートです。五月の「花いっぱい運動」では、青年部・老人クラブからご協力を頂き、花の植込みで町がとてきれいなになりました。「西山連峰マラソン」の豚汁サービス、選手の方から「おいしいよ」「これが楽しみ」と言われ、とてもうれしく思います。八月は、メインイベント三島まつりでの「真夏のおでん」の販売、早いうちに完売。大きな収入源です。秋は研修旅行、県内外へ行って鋭気を養っています。十二月はフラワーアレンジメント講習。一月には「女の正月」新年会です。マジックあり、踊りに歌とにぎやかな会になります。「参加しなければ」「楽しくなければ女性部ではない」を合言葉に部員一同活動しております。受賞して益々がなければちやちやと思っております。

